



# KIFA Plaza

第24号

1995年7月19日発行

〈発行〉

鎌ヶ谷市国際交流協会

編集・広報部

- \*GENERAL MEEETING, Foreign language courses start (pg 2-3)
- \*New Zealand visitor is a wife and mother of four; Kick baseball tournament & lunch (pg 4-5)
- \*My hometown (pg 6), Reader's column (pg 7)
- \*Miscellaneous information (pg 8)



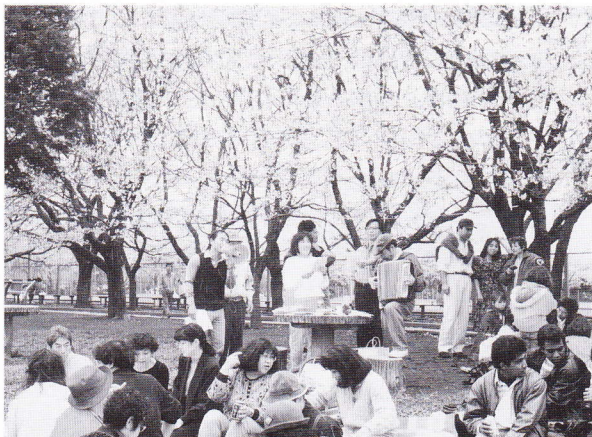
アコーディオンの  
メロディーに合わせて  
フォークダンス



## CHERRY BLOSSOM VIEWING PARTY

On April 9th, Sunday, a cherry blossom viewing party was held at the Shisei Kinen Koen - Park. About 70 non-Japanese and Japanese people enjoyed having lunch under the beautiful cherry blossoms. They also had a wonderful time singing and dancing.

## きれいな桜、おいしいお弁当 お国自慢の歌、そして楽しいフォークダンス



お天気もまずまずの4月9日(日)、市制記念公園で恒例のお花見パーティがひらかれました。当日、参加者約70名(外国人は30名)の方々は、お花見を通して楽しい交流の場を持つことが出来ました。

持ち寄りのお弁当をひろげ、ジュースやビールの飲み物を片手に楽しいおしゃべりの輪が次から次へと広がり、笑い声となり、とても和やかな雰囲気が進められていきました。おなががいっぱいになったところで、各国の歌が披露され、ゲームやフォークダンスなど、盛り沢山のメニュー...

そして、最後は、「来年もまたお花見をやりましょう！またお会いしましょう！」のお別れの挨拶でした。参加者全員がすてきな笑顔でお別れしたのが、とっても印象的でした。

# 1995年度 鎌ヶ谷市国際交流協会総会開催

去る5月14日(日)市総合福祉保健センター、6階大会議室において、本年度の総会が開催されました。

昨年度の各部会の事業報告並びに収支決算と、本年度の事業計画案、予算案が審議され、いずれも承認されました。主な事業計画は次のとおりです。

- 1、海外派遣事業の実施…ニュージーランド 12名
- 2、講演会・イベントの開催(3回)
- 3、語学研修講座の開催…英語(4講座)中国語(1講座)スペイン語(1講座)講座間交流会(3回)
- 4、日本語ボランティア活動…日本語(1講座)日本語ボランティア研修会(3回)日本語ボランティア間交流会(2回)
- 5、通訳ボランティア活動の促進…研修会の開催(2回)要望により通訳・翻訳をする
- 6、会報の発行…年3回発行(A4 8ページ 4,000部)
- 7、在住外国人との交換…KIFA PARTYの開催・ティーパーティー交流会・料理文化交流会・花見パーティー・夏まつりミニパーティー・スポーツミニパーティー
- 8、ホームステイ・ホームビジットの受入(随時)歓迎パーティー(5回)
- 9、その他…国際交流事業の推進

その後、会長職就任の承認及び、新役員紹介がありました。

## 1995年度 鎌ヶ谷市国際交流協会役員名簿

(敬称略)

| 役・職  | 氏 名     | 担 当        | 所 属 団 体         |
|------|---------|------------|-----------------|
| 名誉会長 | 皆 川 圭一郎 |            | 鎌ヶ谷市長           |
| 顧問   | 月 野 隆 明 |            | 鎌ヶ谷市議会議長        |
| 顧問   | 秋 山 秀 一 |            |                 |
| 顧問   | 佐々木 武二郎 |            |                 |
| 監 事  | 西 峰 光 男 |            | 法人代表湘東洋ハウジング    |
| 監 事  | 皆 川 岩 雄 |            | 市民代表            |
| 会 長  | 荒 井 茂 行 |            | 市民代表            |
| 副会長  | 岡 本 靖 子 | 企画総務委員長    | 市民代表            |
| "    | 竹 内 明   |            | 鎌ヶ谷ライオンズクラブ     |
| 理 事  | 田 沢 進二郎 | 会計 運営委員    | 市民代表            |
| "    | 岡 野 喜久江 | 広報部会長 運営委員 | 市民代表            |
| "    | 佐久間 真由美 | 派遣部会長 運営委員 | 市民代表            |
| "    | 村 田 源 吉 | 研修部会長 運営委員 | 市民代表            |
| "    | 石 関 澄 子 | 交流部会長 運営委員 | 市民代表            |
| "    | 岡 田 猛   | 運営委員       | 鎌ヶ谷市体育協会        |
| "    | 豊 田 朋 二 |            | 鎌ヶ谷市商工会         |
| "    | 小 倉 富美子 | 運営委員       | 鎌ヶ谷市スカウト連絡協議会   |
| "    | 細 井 和 美 |            | 鎌ヶ谷市子ども会育成連絡協議会 |
| "    | 上 野 百合子 |            | 鎌ヶ谷市芸術文化協議会     |
| "    | 鈴 木 秀 承 |            | 鎌ヶ谷市自治会連合協議会    |
| "    | 浅 海 博 行 |            | 鎌ヶ谷市農業者団体連絡協議会  |
| "    | 高 野 彰 久 | 運営委員       | 鎌ヶ谷青年会議所        |
| "    | 清 松 樹 男 | 運営委員       | 鎌ヶ谷ロータリークラブ     |
| "    | 椎 名 房 男 |            | 鎌ヶ谷市教育委員会委員長    |
| "    | 石 橋 立   |            | 千葉県立鎌ヶ谷高等学校長    |
| "    | 松 村 誠   |            | 千葉県立鎌ヶ谷西高等学校長   |
| "    | 鈴 木 昌 平 |            | 鎌ヶ谷市小中学校長会      |
| "    | 粟 生 幸 雄 |            | 鎌ヶ谷市助役          |
| "    | 酒 井 三 郎 |            | 鎌ヶ谷市教育委員会 教育長   |
| "    | 菅 原 正 己 | 会計 運営委員    | 鎌ヶ谷市市民公室長       |

## 「国際交流は地域交流の延長線」

会長 荒井 茂行



1991年に東西の冷戦に一応のピリオドが打たれて以後、世界の国々の間で新に人間のエゴや利害に起因する諸問題が発生するようになったように思います。この事は、東西のバランスを保つことに神経を傾注していた時代の反動とでもいうものなのではないでしょうか。い

ずれにせよ人間が引き起こした諸問題は、やはり人間の英知により平和的に解決しなければならないのです。

このような時代に日本は、国際社会の一員としてどのような態度で臨むべきかという事は重大なことです。先進国と言われている以上、まず日本の現状と歴史を踏まえ、その上で一貫した今後の方向、考えを明確にしないてはなりません。それにより、信頼が生まれ話し合いの条件が整う事になるものと思います。

年々、世界が狭くなりつつあるとか、ボーダーレスという事が言われているようにこれだけ国際化が進んできまると、政府が行う外交と同等に民間における国際交流は大きな意義を持ち、その重要性は増してきていると思います。諸外国の人々及び文化に接することにより視野

が広がり、物事を多面的に見る目が養われます。

また、外国に行ったことで、日本の文化、習慣、風俗を改めて見直したとか、認識不足であったとかと言う言葉を耳にする事があります。外に向ける目が内に向かう目という事なのではないでしょうか。国際交流をする上で、基調となるのは「人間として正しい価値判断が出来、相手を思いやる心」だと思います。これは特に外国人に対してのみではなく日常生活の上でも地域の人々に対しても同様である事は申すまでもありません。地域の交流が国際交流の原点と言っても過言ではないと思います。

国際交流協会では、海外派遣、受け入れ、語学研修講座、外国人との交流会、研修会、講演会、通訳ボランティア、広報発行等の事業を行っています。設立以来8年目を迎え、更にこれからの事業の充実に努めて参ります。会員をはじめ、市民の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。また、末筆ではございますが、今後共、市、関係機関、団体のご支援をお願い申し上げます。



# 語学研修講座開講式

研修部会担当



英語講座を担当して3年目になります。楽しみながら英語を学べるようなクラス作りを心がけています。毎回受講者の皆さんの熱意にはげまされ、自分自身も共に学んでいる状態ですが、笑いの絶えないクラスです。 坂田先生

1961年にアメリカンスクールの教師として日本に来ました。出身はモルモン教でよく知られているアメリカ西部のユタ州です。主人の転勤で札幌に8年、大阪に5年良い経験と友達を沢山つくりました。息子は今アメリカのB・Y・U大学の4年、娘はアメリカ人と結婚して3人の女の子がいます。 平野先生



私は中国北京から来た楊浩です。主人も中国人です。娘一人。私の趣味は旅行、スキーです。今、鎌ヶ谷で中国語を教えています。

楊先生



鎌ヶ谷に6年間住みKIFAの語学講座に生徒として、また講師として参加させていただき自分自身の勉強に大いに役立ちました。たくさんの方とも知り合え、得たものは計り知れません。 興津先生

## 先生紹介

来日前はカルフォルニアで高校教師をしていました。教えることが大好きで鎌ヶ谷で色々なクラスを持って幸運だと思っています。1人でも多くの人がこの語学講座に申し込んでくれることを望んでいます。

バーク先生

本年度も下記のような講座が企画されています

|       |       |             |
|-------|-------|-------------|
| 英語初級  | (水)午前 | 興津圭子講師      |
| 英語初級  | (金)夜  | 坂田佳枝講師      |
| 英語中級  | (金)午前 | ジャネット平野講師   |
| 英語中級  | (水)夜  | スティーブバーク講師  |
| スペイン語 | (木)夜  | アコスタゆかり講師   |
| 中国語   | (土)夜  | 楊浩(ヨウ ジェ)講師 |
| 日本語   | (火)夜  | ボランティア      |

講座担当3回目。主人がキューバ人。スペイン語を話す国は沢山あります。少し覚えてラテンの世界を貴方のものに。 アコスタ先生

KIFA総会後、アンデスの民族音楽「グルボ ロス アウキス」の3人の演奏を楽しみました。私達のよく知る曲もあり、竹笛ケーナなど民族楽器と歌のハーモニーは遠くアンデスの山々や空を想像させてくれました。

開講式では、恒例各講師のあいさつがありました。まず、小柄で可憐な興津先生の力強く流暢な英語で始まり、会場は一瞬にしてぴーんと緊張。次に坂田先生は易しい日本語で。「でもご安心下さい。私、英語もちゃんと喋れますのよ。」に緊張がとれて大笑い。平野先生の昔話は、



実はご主人との出会いの打ち明け話でした。バーク先生は上達された日本語を駆使し、楊先生の「ニイハオ」もすっかりおなじみとなりました。明るく爽やかなアコスタ先生は欠席されましたが、ボランティアによる日本語講座も盛んで外国の人達の精神面の支えにもなっています。全受講生はクラスに出席すれば、楽しく自然に外国語が修得できるという、確かなる希望をもつことができました。

4月9日、ニュージーランドのワカタネから三ヶ月のホームステイの為に来日したテレサ ギャリカーさんは、一男三女のお母さん。ワカタネでは地元の小学校でセレピストとしてボランティア活動をしています。今回の来日目的は、日本語と日本文化を学び、この国の教育制度を知ること。また、ニュージーランドの文化と英語を日本の方々に紹介したいとのことでした。

滞在中は、三軒の受け入れ家庭から市内の中学校に通い生徒達と交流すると共に、休日には各地の観光地等を訪れ日本文化に親しみました。

## 日本の事 沢山勉強しました

テレサ ギャリカーさん

来日前に日本についての本を沢山読んで勉強していたので、こちらに来て驚く事はほとんどありませんでした。日本のおふろにもち



ゃんと入れますよ。ただ、日本の家庭の中に入ってみて細かい事で新たな発見をするというのはありますね。たとえば、帰宅の遅い夫を起きて待っているとか、子供のしつけ方とか…。小さな違いはありますが、基本的な女性の生き方は日本もニュージーランドもそれほど変わらないと感じました。

英語教育に関しては、中学生になると、ミスをすることを恐れたり、恥ずかしがったりで、なかなか積極的になれないようです。それとは反対に、一度訪れる機会のあった小学校では、とてもイキイキと話しかけてくれる子供達に出会いました。小学校のうちから、もっと英語や外国人に接することが大切だと感じました。(談)

# テレサさん笑

NEW ZEALAND VISITOR IS Mrs Theresa Gallacher (47), a volunteer therapist who visited Kamagaya between April 9 through July 4. She taught high school students to learn English and also shared her family life in Japan by staying with three host families.



Theresa enjoys a home party at the Naruses.

6月3日(土)夜に行われた成瀬栄子さん宅でのホームパーティーさせていただきました。お客様は、ALTのジェニファーさんと御主バートさん、テレサさんが二中でお世話になったという山本先生とそ子で大学生の勤君。そしてお隣の斉藤さん御一家。成瀬夫妻とお子さ絵さん(高2)、公暁君(中3)の総勢12人。テーブル一杯のご馳走を英語と日本語の飛び交う楽しいパーティーとなりました。

On June 4th, Sunday, a Kick-Baseball tournament and lunch was held in the Hokubu Elementary School gymnasium, sponsored by the Kamagaya Junior Chamber Club and KIFA.

Even though the weather was rainy and cool, more than 40 people showed up to take part in the event. Four mixed teams were made, including kids, ladies, gentlemen and foreigners. At first, players didn't know how to play "Kick-Baseball," but after just a few minutes into the game, everyone got the hang of it, and began playing seriously!

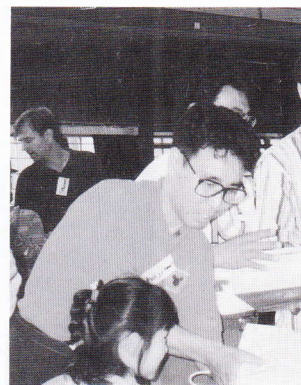
Usually an elementary school's gym is filled with children's voices, but on that day, mostly only adult's laughter and shouts could be heard. Probably most of the players had sore muscles the next day from playing so hard.

After 4 games the tournament ended and most everyone enjoyed grilled beef, noodles (yakimiku & soba) and soft drinks. During lunch and the games, there were many chances to meet, talk and run into different peoples from around Kamagaya, Japan and the world. The day ended with prizes being awarded to the tournament's winners, with special prizes awarded for special performances.

The effort that the Junior Chamber Club and KIFA made in making this party a success is greatly appreciated; THANKS JUNIOR CHAMBER AND KIFA!

JUNIOR  
SPONSOR  
TOUR

ボー



# 顔で民間外交

WIFE AND MOTHER OF FOUR  
ist, wife and mother from Whakatane New Zealand,  
During her stay here, she helped Kamagaya junior  
about the culture of New Zealand. She also enjoyed  
amilies in Kamagaya.

## 思い切って受入れて良かった！

成瀬 栄子さん

主人と子供達は、ホストファミリーになることに反対  
していたんです。でも、テレサさんの年齢や家族構成、  
趣味が私と似ていたの思い切って受入れました。とて  
も明るくて気さくな方。一緒に居ても全く違和感がなく、  
わが家の一員のようです。主人や子供達も、英単語を組  
み立てながら彼女に進んで話しかけるようになりました。  
娘の文絵（あやえ）は日本文化にとっても興味があって、  
こづかいをためて明日歌舞伎を見にいくんです。それを  
聞いてテレサさんも行きたいと言い出し、二人で出かけ  
ることになりました。今回の経験は、子供達にとっても、  
とても良かったと思います。（談）

### 受入家庭

- ① 4月9日～5月20日 小川 澄子 様宅
- ② 5月21日～6月10日 成瀬 栄子 様宅
- ③ 6月11日～7月4日 石関 澄子 様宅



「One potato, two potatoes…」(ワン ポテイトゥ トゥー ポテイトウズ…)  
「あら、日本にも同じような遊びがあるんですよ。  
ズイ ズイ ズッコロバシ ゴマミソズイ……」



「You are out, Theresa!」(ユー アー アウト テレサ)  
「Oh, no!」(オー ノー)



「お国は違っても、同じような遊びって  
けっこうあるんですね。」

取材  
人のロ  
の教え  
んの文  
囲んで

CHAMBER AND KICK & BASEBALL  
ER KICK - B A S E B A L L  
N A M E N T & L U N C H

## で広がる “交流の輪”



6月4日（日）、北部小学校体育館において、鎌ヶ谷青年  
年会議所主催、K I F A後援のキックベースボール大会  
が行われました。

外国人16～17人を含め、総勢50人余りが集まりました。  
国際交流協会会長の荒井氏の挨拶に始まり、ルール説明  
の後、それぞれ国籍、性別関係なく混合4チームに分か  
れ、始球式によりプレー開始！はじめは、珍プレー続出  
で、その度に身振り手振りで説明したり、笑い声と共に  
微笑ましい光景が続きました。優勝決定戦では白熱した  
プレーが続き、一つのボールを追う一人一人の表情がと  
ても生き生きと感じられました。鎌ヶ谷青年会議所の方  
達が用意して下さった焼肉等に、舌鼓を打ちながら、交  
流の輪が広がりました。

最後に、表彰式が行われ、最優秀賞・技能賞から珍ブ  
レー賞まで、様々な賞が参加者に渡されました。そんな  
中で、敢闘賞に輝いた ROSHAN さん（スリランカ）の  
一言「町で、私たちが道をたずねても、どうか逃げない  
で、やさしく教えて下さい！」がとても印象的でした。

## いつだって帰りたいと願う場所チャダム

ポール ヴァン レイ  
PAUL VAN RAAAY



私はチャダムという、デトロイトから70kmに位置するカナダはオンタリオ州の小さな町出身です。といっても、生まれはカナダの首都オタワなのですが、物心がついた頃からのほとんどの思い出はチャダムでの出来事なので、私はいつでもこの街をMy Home Townと思ってきました。オンタリオ州南部というのはとにかく平地でだっ広くて、一面をトマト畑が真っ赤に染めたり、夏は、とうもろこし畑で仕事を手伝う子供で溢れかえります。私も子供の頃は農場やコーン畑の中を潜りぬけて探検したり、家の脇を流れる



チャダム

小川では魚釣りをしたりと自然を友に遊んだものです。自転車で意味なくホコリ立つ小道を行ったり来たりもしました。田舎町に住む多くの子供達と同様、一日のほとんどを屋外で過ごし今日は何をしようか、どこへ行こうか、など、楽しい事が山ほど待っているそんな毎日でした。冬にしても、例え風がどんなに冷たく、外は雪でも

はまずなく、スケートやホッケーをはじめ、ドボガンすべりをしたりと冬でしか出来ない遊びを寒さに負けることなく楽しんだものです。チャダムは多くの観光客が訪れる様ないわゆる派手な街ではありません。しかし、私の心の中では美しい故郷として存在しています。

私がいつだって帰りたいと願う場所それが

“My Home Town”

チャダムなのです。



## アバダン 私の ふるさと

モヘセン バハラミー  
MOHSEN BAHRAMY

地球に イランという広い国がある。この国の南に、産業の町があった。石油を輸出するためにペルシャ湾岸の大切な港です。アジアの一番大きな精製所はこの暑い町のそばでした。私は油田の上の町、沢山の石油タンクとなつめやしがある町で生まれました。

精製所に仕事が沢山あったから、労働者と技術者たちは、イギリス、インド、マレーシア、韓国、サウジアラビア、パキスタン、日本から、自分の住まいから離れてこの町へ。精製所とさんばしで、生活の向上のために、一生懸命働いて稼いだ。一日8時間交替で、きれいな服装の労働者達は、川の流れの様に、入り口から入り、石油で汚れて出口から、帰っていきました。

夜は、この眠らない町の空は、燃えている油田のガスと、百せき以上の船の灯りのために明るかった。

この砂漠と海の間にあるこの場所は気候的に、南風が吹くと、湿度が高く、石油と海の匂いがし、それで、北風が吹くと、つむじ風と熱い砂がくる。私の幼年時代で一番面白かったことは、町のバザールでした。私にとっては小さい世界でした。なぜなら、世界中から色々な人がそこに集まって、買い物をしたり、遊んだり、とても賑やかだった。ほとんどこの近所の町の大人は、やさしい英語とアラブ語は知っていたから、バザーで話しをするための悩みはなかった。子供達はジェスチャーだ。肌の色の違い、宗教、文化、民俗を超えた様々な国の人の友情の場所でした。長い間その小さい国際的な町に、差別と軽蔑が無い様に、勇敢な人達は、手をつないで兄弟の様に一緒に住んでいた。

あの時から25年が過ぎた。私は他の国で働いた後で、自分の町の外国の人の気持ちを分かりました。未来に平和、人類に明るい心を！



## 日本に来て13年

鎌ヶ谷在住 渡辺 雪

私は主人と一緒にいる為、台湾から13年前初めて日本にきました。自国に居る時はテレビや雑誌等で日本は大変な経済国だとある程度は知っていたのですが、いざ日本で生活してみると色々苦労いたしました。生活習慣、風土の違いなど色々ですが、毎日の買い物や電車に乗る時等です。それでも4年前に主人にすすめられて、自動車教習所に行った時にはある程度漢字が分かるので本当に助かりました。そして、やっと免許取得していざ車に乗ってみると私のように異国育ちの初心者でも、規則を守って走るとのろのろ運転でも何とか走れるようになりました。台湾では、交通規制はあっても無いと同じ様なものです。車は多くオートバイも多くとても日本と同じ神経では走れません。それから、買い物ですが台湾では朝早くから市場等はやっていて、夜は屋台、露店等が遅くまでやっているのでもとても便利なような気持ちになります。買い物等は売り子さんの声や買い物客の声でとてもにぎやかでその言葉の中にも人情味があふれていますが、日本のスーパーでは品物がどれをとっても整理整頓されてきれいですが、私にとっては何か



さびしい冷たい感じさえしてなりませんでした。住まい等は日本は一軒家が多くきちんと整地してあり、緑もあり、治安も安定していてとても暮らし易いと思います。台湾は国が小さく人口は多いのでやはりマンションが主となっています。日本の四季は春に桜が咲き、秋には紅葉があり、台湾では想像もつきません。特に冬等は温泉に行き、露天風呂等に入って見た雪は、とてもすばらしいと思いました。台湾では知らない人同士お風呂に入る事等とても恥ずかしくて出来ません。又、日本の古くからの伝統では、5月5日は子供の日ですが、台湾の子供の日は4月4日です。その日に特別に何かをやると言う行事はありません。日本では3月3日ひな祭り、5月5日の鯉のぼりという様に私の子供も今年で小学校2年になり色々経験して来ました。特に七五三のお祝いの時等私もそうですが、着物を着て神社に行き神にお払いをしてもらうという、今考えるととても大切な良い体験をしたと思っています。

私も日本に来て13年たちました、人として妻として母として、日本でまだまだ知りたい事や、やりたい事が沢山あり勉強不足なので、これからも自分の為家族の為に精一杯頑張っていきたいと思っています。

**投稿規定：**25文字×30行以内。題名、住所、氏名、年令（学年）を明記の上、  
鎌ヶ谷市国際交流協会事務局（市役所3階企画課）まで。  
記載されたものには、粗品をお送り致します。



## 心と言葉と経験と 相良 雅子

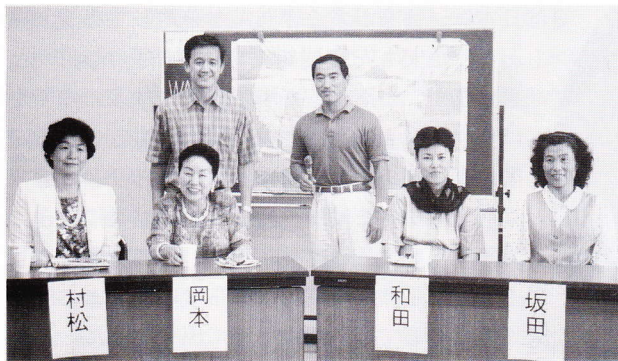
アメリカ、とりわけロス人は人種のるつぼといわれるけれど、全く同感。本当に色々な国の人に出会う。考えも様々。真冬にTシャツ1枚でいようが、ド派手な服を着ようが誰も何も言わない。住みやすい。といってもやっぱりうわさは聞こえる、これは世界共通。さてアメリカに暮らしての宝の1つは個人の自由。自分のものさしで人は測れない。伝統も宗教もそれに伴う風習や生活様式までも国ごとに素晴らしい。そのため簡単にはMUSTは使えないし使いたくない。にもかかわらず結構自国のルールで主張もされる。そこで学んだ2つ目は、生活するということは微笑みだけではすぎていけない現実。確かに目は口ほどにものを言う、気持ちも通ずる、心が一番。それでも暮らしの扉を開くには言葉がいる。NOのいえる自分も必要。3つ目は有り難い経験。住んで2週間もしないうちに近所中が持ち寄りで開いてくれた「ようこそPARTY」から始まってなんとたくさんのあた



たかさを感じたことだろう。そんな中で私もお役に立てればと始めた知的障害児施設でのボランティアは、なかなか難しかった。2～10歳の子供との理解してはもらえない会話、自分では食べようとしない昼食、歯みがき、トイレの世話、一緒に遊んでもどの子にも笑顔はないし言葉もない。でも少しづつ心が通じる、私を待っていてくれる、嬉しかった。その後、ちょっとお声がかかって続けた日本人との橋の役目。ハンティントンライブラリーの説明係で図書館と展示と美術館と15の庭園がある。ここは絶対見る価値ありのおすすめ所。この頃はすっかり忘れて説明出来そうにもない私だけれど。大切な経験。今、鎌ヶ谷の日本語クラスにかかわって、新しいよろこび。上の写真、男性に囲まれて嬉しきことかな。

## 大いに語るパネルディスカッション

## "暮らして泣いて笑ってアメリカ文化"



Talking about American Life

去る6月18日(日)午後1時より中央公民館にて、「第1回市民国際理解講座」が研修部会通訳ボランティア担当で開かれました。岡本靖子氏、村松淑子氏、和田照子氏、坂田佳枝氏ら4人のパネラーによる、それぞれのアメリカ生活6～9年からくる経験談が、ユーモアを交えて楽しく行われました。物価の安さ、フリーウェーはフリーという車社会の便利さ、学校教育では、授業が総合的に発展するやり方や能力別など日本の教育制度とは大違いで、帰国後は困った事等々……話題はつきませんでした。

最後に、会場の方々からの質問を受け、和やかな雰囲気気で全員参加の自由討論となりました。アメリカについて多くの事を学ぶことができたという好評でした。

研修部会では、今後もこのような国際理解講座の第2、第3を開催していく予定とのこと。ご期待下さい。

## Join us at the KIFA booth during the City Summer Festival

Dear Friends,

KIFA is happy to announce its annual participation in "The Summer Festival of Kamagaya City" on August 26, Saturday. KIFA heartily invites all members of the foreign community to join us! Some entertainment will be provided in the booth sponsored by KIFA.

This is an excellent chance to meet and socialize with new people in a relaxed environment. You will be able to buy beverages at a discount price. Simple snacks will be provided in our booth. Please come and bring your friends at your convenience. The booth will be open from 11am to 7pm. We are looking forward to meeting you and your friends!

### KIFAのブースで市民夏まつりをお楽しみ下さい!

さて、来る8月26日(土)に鎌ヶ谷市民夏まつりが貝柄山公園で行われることはすでにご存じかと思います。KIFAではまた例年通り市民夏まつりにブースを出すことになりました。

ブースでは鎌ヶ谷に住む外国人の方々と市民の懇親を目的として、ささやかですが交流の場を用意いたします。「自分は外国語は苦手です」などと尻ごみは無用です。ほとんどの外国人の方は日本語を聞き取りますし、日本語を達者に話す方もおります。皆様方には奮って交流に

ホームステイ受け入れ家庭

**大募集!**

登録は、KIFA事務局にて

ご参加くださることを期待しております。

当日は午前11時頃より午後7時頃まで開いておりますので、お好きな時間にお立ち寄りいただければ願っております。

## 編集後記

広報部会に入って、今回はじめて取材を経験しましたが、とても緊張してしまいました。笑顔でインタビューしたつもりでも、後から写真を見ると、顔がひきつっていたりどこかぎこちなかったり…。それに比べ、取材先の方々のごく自然な笑顔やあたたかい対応に、学ぶべき点がたくさんあったように思います。今まで何げなく読んでいた記事も、作る側の立場になってみると、書く人の苦労が見えてくるような気がします。

これからは、肩の力を抜いて自然体で取材できるよう心がけて、広報部会のメンバーの方々と楽しい紙面作りを続けていきたいと思います。

(T. K)